

第32回 高知市

都市美 デザイン賞

Kochi City
Scenery Design Award



2016
受賞

こころ豊かな景観を創り出すために

～選考を終えて～

今年度における都市美デザイン賞の応募は24通あり、審査物件が21件であった。その内訳は、一般建築部門が9件、住宅建築部門が10件、街並み・まちづくり部門が2件、テーマ部門（土木・工作物）は応募がなかった。部門ごとに一次審査および現地調査による二次審査を実施し、入賞には一般建築部門の1件、住宅建築部門の1件、街並み・まちづくり部門の1件をそれぞれ選考した。なお、特賞は該当なしとなった。

一般建築部門の「織田歯科医院」は中央地区の商業地域の角地に建ち、歴史的建造物である旧医院を保存し、それと調和のとれた歯科診療所併用住宅である。医院建築は高知県内産を吟味した木材と精緻な技術で建てられ、南側の庭園の眺めを巧みに取り入れて落ち着いた佇まいを創出している。西北には塀を保存する一方で、西南の塀は復元し北側は新たな塀で敷地を囲うことで一体として整備された総合的なデザインによって優れた景観が創造されている。

住宅建築部門の「高台の家」は秦・初月地区の郊外型住宅ゾーンに立地し、西に緑化スペースを設けて駐車場を配し煉瓦塀を残している。住宅建築は全体として落ちつきある色遣いであり、デザイン性にも優れており、魅力的な住宅地景観が創造されている。

街並み・まちづくり部門の「近森病院・近森リハビリテーション病院周辺の街並み」は高知城の外堀にあたる江ノ口川沿いにおいて、病院建築は統一感のある形態と意匠し、公開空地を中心に水路側と道路側の境界付近を緑化することで、良好な景観の形成の向上に貢献している団体と認められた。

高知市景観審議会 会長 三浦 要一

THE 32th Kochi City Scenery Design Award

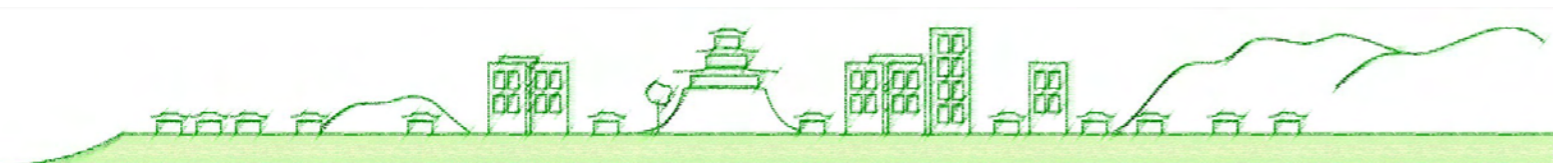
都市美とは・・・

「都市美」というと、造形的に美しい街並みを想像しがちですが、私たちの心に豊かさを与えてくれる自然、人の心づかいとふれあいのある風景も「まちの美しさ」のひとつではないでしょうか。

建築物、街並み、みどりや水辺などの自然環境と歴史、文化、優しさ、親しみなどの快適さを地域に調和させて美しく親しまれる都市景観、個性的で魅力ある都市空間を「都市美」と定義し、それを創造し、再生し、守っていきたいと考えています。



主催/高知市



織田歯科医院

升形



- 建築主…医療法人オダ・デンタルオフィス 織田歯科医院
- 設計者…有限会社岬建築工房
- 施工者…株式会社建築工房縁e

評

「織田歯科医院」は中央地区の商業地域の角地に建てられている。旧医院は建築年が大正14年(1925)の鉄筋コンクリート造2階建て、『日本近代建築総覧』(日本建築学会編 1980)は「大正末期の様式をよく残しており注目に値する」と収録し、日本の近代建築で現存する主要なものとしてリスト化されていた。旧医院は高知市内の大正末期を代表する歴史的建造物であり、規模、意匠ともに充実して文化財的価値が高い。

医院建築は、旧医院の保存を図ったうえで、それと調和のとれた歯科診療所併用住宅になっており、木造、2階建て、屋根は寄棟造の形式、ガルバリウム鋼板の立はげ葺である。高知県内産を吟味した木材と精緻な技術で建てられ、南側の庭園の眺めを巧みに取り入れて落ち着いた佇まいを創出している。西北には塀を保存する一方で、西南の塀は復元し、北側は新たな塀で敷地を囲うことで、全体構成から細部に至るまで計画的にまとめ上げ、一体として整備された総合的なデザインによって優れた景観が創造されている。

高台の家



- 設計者…聖建築研究所
- 施工者…有限会社高村建設

評

「高台の家」は、秦・初月地区の郊外型住宅ゾーンにおいて、見晴らしが良好な高台の角地に建ち、木造、一戸建、2階建て、屋根は片流れの形式、ガルバリウム鋼板の立はげ葺である。

西に緑化スペースを設けて駐車場を配し煉瓦塀を残している。新築にあたっては植栽と煉瓦塀が継承されたものとみられ、これまで営まれていた生活を反映した雰囲気や親しみやすさにより、住宅地景観の魅力を高め、未来へと引き継ぐものになっている。

住宅建築は全体として落ちつきのある色遣いであり、外構とともにデザイン性にも優れており、第一種低層住居専用地域にあって地域の景観をリードしている。

近森病院・近森リハビリテーション病院周辺の街並み



- 受賞者…社会医療法人近森会

評

今年度の街並み・まちづくり部門の選考では、「市内にあって、良好な景観の形成に寄与していると認められるまちなみ」の対象と表彰の方法について慎重な審議がおこなわれた。

『高知市景観計画2009』は河川軸の基本方針として、「鏡川と江ノ口川に挟まれた平地に城下町がつけられたことが高知市の起源であり、この2つの河川景観は、「高知らしい景観」の代表であり、それを守る必要があります」と定めている。江ノ口川沿いにおける「近森病院・近森リハビリテーション病院周辺の街並み」の病院建築は、白色を基調とした統一感のある形態と意匠し、屋外広告物はできる限り設置されないようになっている。公開空地を中心にして、水路側と道路側の境界付近を緑化することで、安らぎや親しみや潤いを与えている。

江ノ口川の両岸の病院建築は河川から山並み、街並みへの眺望が配慮されており、「近森病院・近森リハビリテーション病院周辺の街並み」は、商業施設や事務所が集積している中心市街地において、良好な景観の形成の向上に貢献していると認められる団体である。

過去5年間の受賞一覧

実施回 (実施年)	受賞物件名
第27回 (2011)	お食事だいせい 青木歯科 あかり格子の家 山谷のせせらぐ家 ブッダドームとめぐりのもり
第28回 (2012)	高知県立県民文化ホール(改修工事) 時間と場所を繋ぐ家 路地の抜ける家
第29回 (2013)	竹林寺めぐりのもり霊廟 高知電気ビル 星窓の家 昭和町の家
第30回 (2014)	モデルショップヨシオカ 北村商事本社ビル 文化を継ぐ家 町に佇む白い家
第31回 (2015)	ちより街テラス(増築工事) 角地の家

